



人と時代が交差する 次世代に繋がる駅 ※デザインはイメージです。

あしたの新幹線をつくる

Vol.36

鉄道・運輸機構（JRTT）は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



長万部駅デザインはA案に決定！

デザインコンセプト 湯けむり香る噴火湾、人と時代の交差点

2023年10月20日にJRTTが長万部町に提示した、長万部駅のデザイン素案3案に対し、2024年4月5日、長万部町よりA案を推薦いただきました。

長万部町では、未来の長万部町を担う世代の意見を取り入れるため、2021年に長万部高等学校の生徒を中心とした「新幹線駅デザイン検討委員会」を立ち上げ、同委員会はデザインコンセプトの検討から携わってきました。

2023年からは東京理科大学北海道・長万部キャンパスの学生もメンバーに加わり、2024年1月には町民説明会を実施。また、2月には町民等にアンケートを行い、最も票を集めたA案が長万部町より推薦されました。

JRTTでは、推薦案と共にいただいた附帯意見を取り入れながら詳細な設計を進め、地域に愛される駅を作ってまいります。



湯けむり香る 柔らかな揺らめきの駅



大自然感じる 北の煌めきの駅



写真：長万部町提供

「新幹線駅デザイン検討委員会」による町民説明会の様子



写真：長万部町提供

「新幹線駅デザイン検討委員会」のワークショップ



写真：長万部町提供

木幡町長及び委員による長万部駅デザイン推薦書手交式の様子

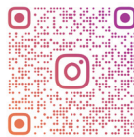
長万部町内の新幹線工事状況について

長万部町内では、トンネル工事に加えて8つの高架橋や橋りょうなどの明かり工区の建設を進めています。その一つである平里高架橋（延長1,838m）では、地中部分の安定を保つための場所打ち杭や地中梁、また、橋脚の工事を行っています。JR函館本線沿いの工事のため、列車内から工事の様子をご覧いただけます。ぜひご注目ください！



平里高架橋建設工事の様子

最新情報はInstagramにて発信中！



JRTT_HKD